

本資料は、報道関係者を対象としています。医療現場や一般の方々を対象とした医学的な情報提供や、プロモーションが目的のものではありません。なお、これらの資料は配信時当初の情報が掲載されており、最新の情報が反映されているとは限らないことをご了承ください。

報道関係各位

2025 年 6 月 30 日

腸チフスワクチン「タイフィム ブイアイ®注シリンジ」新発売 —開発要望に基づき承認を取得した国内初の腸チフスワクチン—

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋 孝彦、以下、サノフィ)は、腸チフス予防を目的としたワクチン「タイフィム ブイアイ®注シリンジ」(一般名:腸チフス Vi 多糖体ワクチン)を日本国内で新たに発売したことをお知らせします。本製品は、2024 年 6 月に厚生労働省より製造販売承認を取得しており、日本において初めて正式に承認された腸チフスワクチンです。



腸チフスは、チフス菌(Salmonella Typhi)によって引き起こされる急性熱性疾患で、通常は細菌に汚染された飲食物を介して感染します。発症すると、発熱・頭痛・倦怠感・下痢などの症状が現れ、肝脾腫が見られることもあります。重大な合併症として腸管出血や腸管穿孔があり、生命を脅かすこともある感染症です。

腸チフスは年間 2,690 万人が罹患していると推定されており¹、特に南アジアや東南アジアなど、衛生環境が十分でない地域で深刻な感染が報告されています²。先進国を除くほとんどの国や地域において中等度の感染リスクがあり²、これらの地域への渡航者にとっては、ワクチン接種が重要な予防手段となります。WHO、CDC、英国健康保護庁およびその他の保健当局では、南アジアおよびその他の流行地域への渡航者に対し、腸チフスワクチンの接種を推奨しています³。

日本国内では年間 20~30 例の腸チフス症例が報告されており、そのうち約 70~90%が輸入事例です¹。治療には主に抗菌薬が用いられますが、近年では多剤耐性菌の増加により、治療が複雑化していると報告されています⁴。

1 国立健康危機管理研究機構観戦用情報提供サイト

2 海外渡航者のためのワクチンガイドライン/ガイダンス 2019(2024 年補遺版)

3 WHO; [1 Typhoid SAGE background paper Final.pdf](#) (September 2017), CDC [Typhoid and Paratyphoid Fever | Yellow Book | CDC](#), NHS [Typhoid fever - NHS](#)、FORTH [腸チフス、パラチフス\(Typhoid Fever, Paratyphoid Fever\)](#)

4 厚生労働省検疫所 FORTH

タイフィム ブイアイ®注シリンジは、2010 年に日本渡航医学会、日本感染症学会、日本小児感染症学会から厚生労働省に対して開発要望書が提出され、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、本邦における医療上の必要性が高いと評価された製品です。

サノフィは今後も、感染症予防におけるグローバルリーダーとして、生命を守るワクチンの提供を通じて、日本の公衆衛生の向上に寄与してまいります。

【タイフィム ブイアイ®注シリンジについて】

販売名	タイフィム ブイアイ®注シリンジ
一般名	精製 Vi 多糖体腸チフスワクチン
効能又は効果	腸チフスの予防
用法及び用量	1 回、0.5mL を注射する。通常、筋肉内に接種するが、皮下にも接種することができる。
国内製造販売承認取得日	2024 年 6 月 24 日

サノフィについて

サノフィは、人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する、というゆるぎない使命を原動力に進み続ける革新的でグローバルなヘルスケア企業です。約 100 カ国の社員は、医療を変革し、不可能を可能に変えるため、日々研鑽に努めています。私たちは、社会的責任と持続可能性を企業の本質とし、画期的な医薬品や生命を守るワクチンを開発し、世界何百万もの人々に届けていきます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。